



朱雀学校だより

特別号

全国学力学習状況調査結果特集



平成30年10月15日

京都市立朱雀第三小学校

校長 小林 一弘

学校教育目標

協働・挑戦・前進

Tel 312-3203

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/suzakudai3-s>

平成30年度 全国学力学習状況調査の結果

4月17日に、6年生を対象に実施された「全国学力学習状況調査」の結果がまとめました。本調査は、国語・算数・理科（3年に1度）の3教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されています。その結果から、学力の様子や生活習慣についてなど、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

総合結果（国語・算数・理科）

国語B、算数A・Bは全国平均を上回りましたが、国語A、理科は全国平均を少し下回りました。しかし、無回答率は、ほとんどの問題で全国平均より低い結果でしたので、多くの児童はあきらめずに問題に取り組み、どんな問題でも解決しようとする姿勢が育っているといえます。

国語科より

全体的によくできていますが、国語A（主として知識）の以下の問題で、正答率が低い状況が見られました。

- 主語と述語の関係に注意して、正しい文を書く問題
- 慣用句の意味と使い方を問う問題
- 文の中で正しく漢字を使う問題

どれもが低学年から積み重ねて学習する基礎・基本の問題です。さらなる定着を目指していきたいです。

その一方、国語B（主として活用）では「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べて考えをまとめる」問題（設問1-3）が全国平均を大きく上回っており、話し合いにおける発言の意図を捉える力がついてきていることがわかりました。

算数科より

全体的によくできています。特に、算数A（主として知識）の「二つの数量関係を理解して、小数の除法で計算する」問題（設問1-1）は、全国平均を大きく上回っていました。

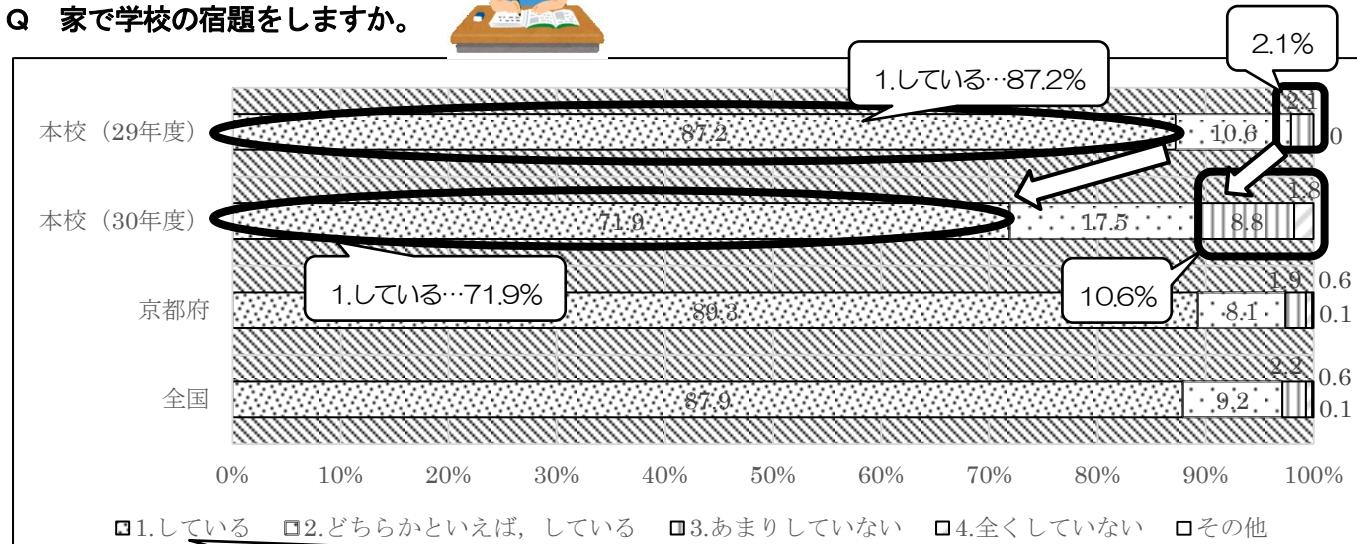
しかし、算数Aの「3桁の整数どうしの大きさを比べ、十の位に入る適切な数字を書く」問題（設問3）や「円の直径が2倍になったとき、円周の長さが何倍になるかを選ぶ」問題（設問7-2）、算数B（主として活用）「アンケートの結果調べから複数の観点で考察する」問題（設問3）は、全国平均を下回っている状況が見られました。これらの結果から、数量関係を正しく捉えて考え、表現することに課題が見られることがわかりました。

理科より

全体的には全国平均を少し下回りました。（-0.3 ポイント）特に、「電流の流れ方について、他者の予想を基に検流計の針の向きと目盛りを選ぶ」問題（設問3-2）は、全国平均よりも正答率が低く、「他者の予想を基に考察することが課題であるとわかりました。しかし、「食塩を水に溶かしたときの全体の重さを選ぶ」問題（設問4-3）は、全国平均を大きく上回っており、多くの児童が物の溶け方の規則性についての考え方をもち、表現できていることが明らかになりました。

児童質問紙調査から

Q 家で学校の宿題をしますか。



「家で学校の宿題をしている」と答えた児童は、29年度に比べて減少しています。また、29年度では「あまりしていない」と答えていた児童が2.1%なのに対して、30年度は「全くしていない」と答えた児童と合わせると10.6%になっています。このように「家で学校の宿題をきちんとしている児童」の割合は、京都府や全国に比べても少ない状況です。学校では、今後も『家庭学習の大切さ』を指導し、習慣化できるように取組を進めていきますので、各ご家庭でも今一度、家庭学習について話し合っていただきたいと思います。

全体を通して本校の成果と課題

本校では、「協働、挑戦、前進」という学校教育目標のもと、保護者や地域の皆様の協力を得て、教職員一丸となって取組をすすめています。

その中の「協働」が具体的に目指すことの1つには、「力を合わせて学習し、互いの力を高め合うこと」があります。今回の「話し合いにおける発言の意図を捉える問題」の結果からは、本校が目指している「話し合い」の力の育成について、成果が表れ始めているといえます。

しかし、児童質問紙結果でも示したように「家で学校の宿題をしている」児童の割合は29年度(本校)・京都府・全国に比べても低く、これは本校の大きな課題と捉えています。家庭学習(宿題)が大切な理由としては、

- ①基礎・基本の力(漢字や計算、文章を読む力など)は、繰り返し学習することで身に付く。
- ②毎日、少しでも家庭で勉強することが「普通」になれば、家庭学習が「習慣」となって良い生活リズムになる。
- ③「自分で学習する習慣」は、計画を立てたり見通しをもって行動したりする力につながる。

以上のようなことが挙げられます。

毎日の努力の積み重ねを大切にして、基礎・基本の定着を図っていくことを学校全体の課題と捉え、今後もご家庭と連携して取り組みたいと思います。



保護者の皆様へ

全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性をさらに伸ばしたり、課題を解決したりしていくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものではありません。学力は、学校・家庭・地域での地道な努力の積み重ねにより定着し、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。今後とも引き続き、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力いただきますようお願いいたします。